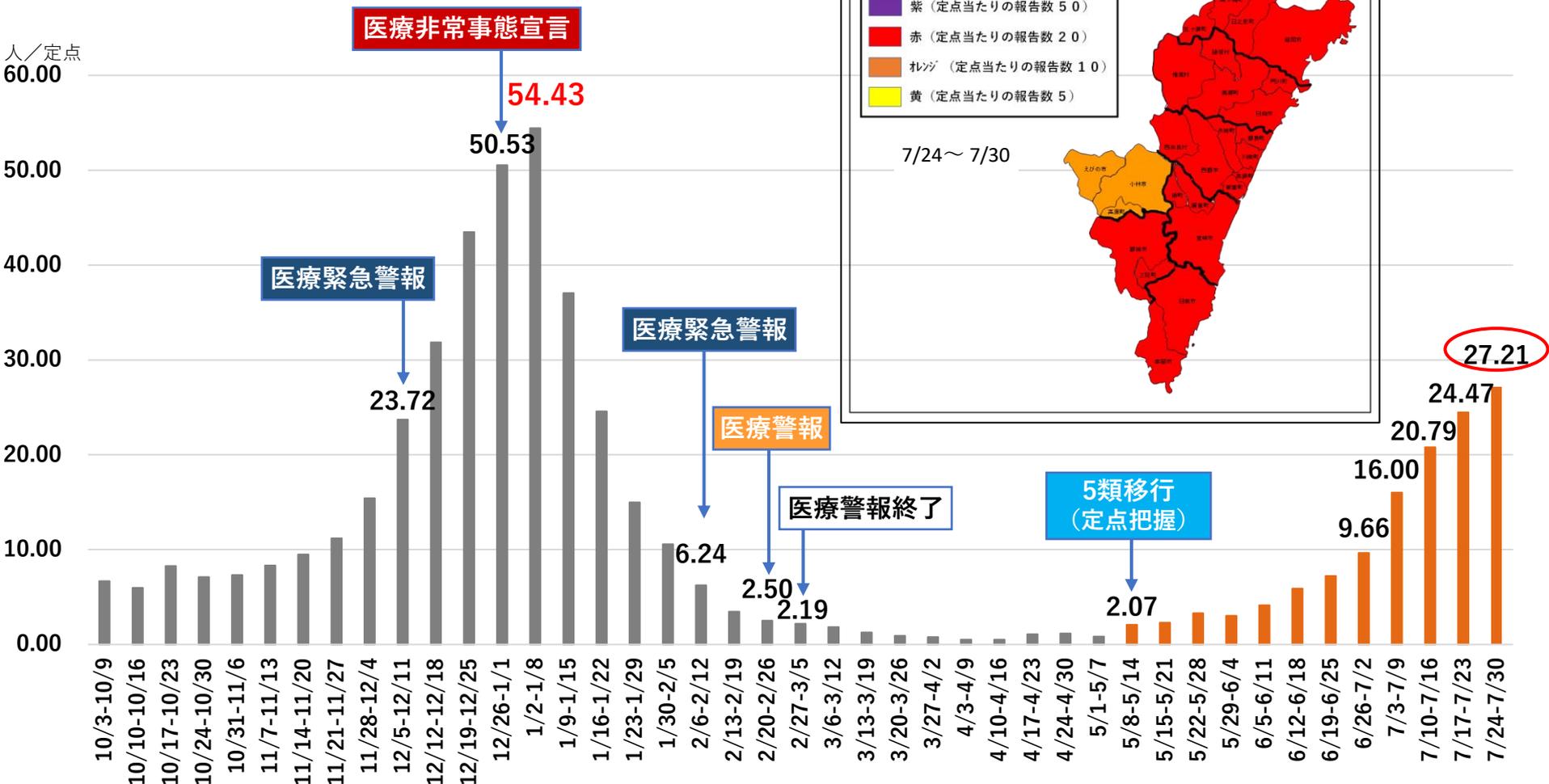


定点当たりの報告数

- ・7月24日の週は27.21（前週比1.1倍）と、8週連続で前週を上回っている。圏域別でも小林・えびの・西諸県圏域を除くすべての圏域で赤区分となっており、県内全域で感染が拡大している状況。
- ・人の移動やイベント等による接触機会の増加により、感染がさらに拡大する可能性がある中、高齢者等の重症化リスクの高い方々を感染から守るため、警戒を強める必要がある。

第8波（R4.10.5～R5.3.2）

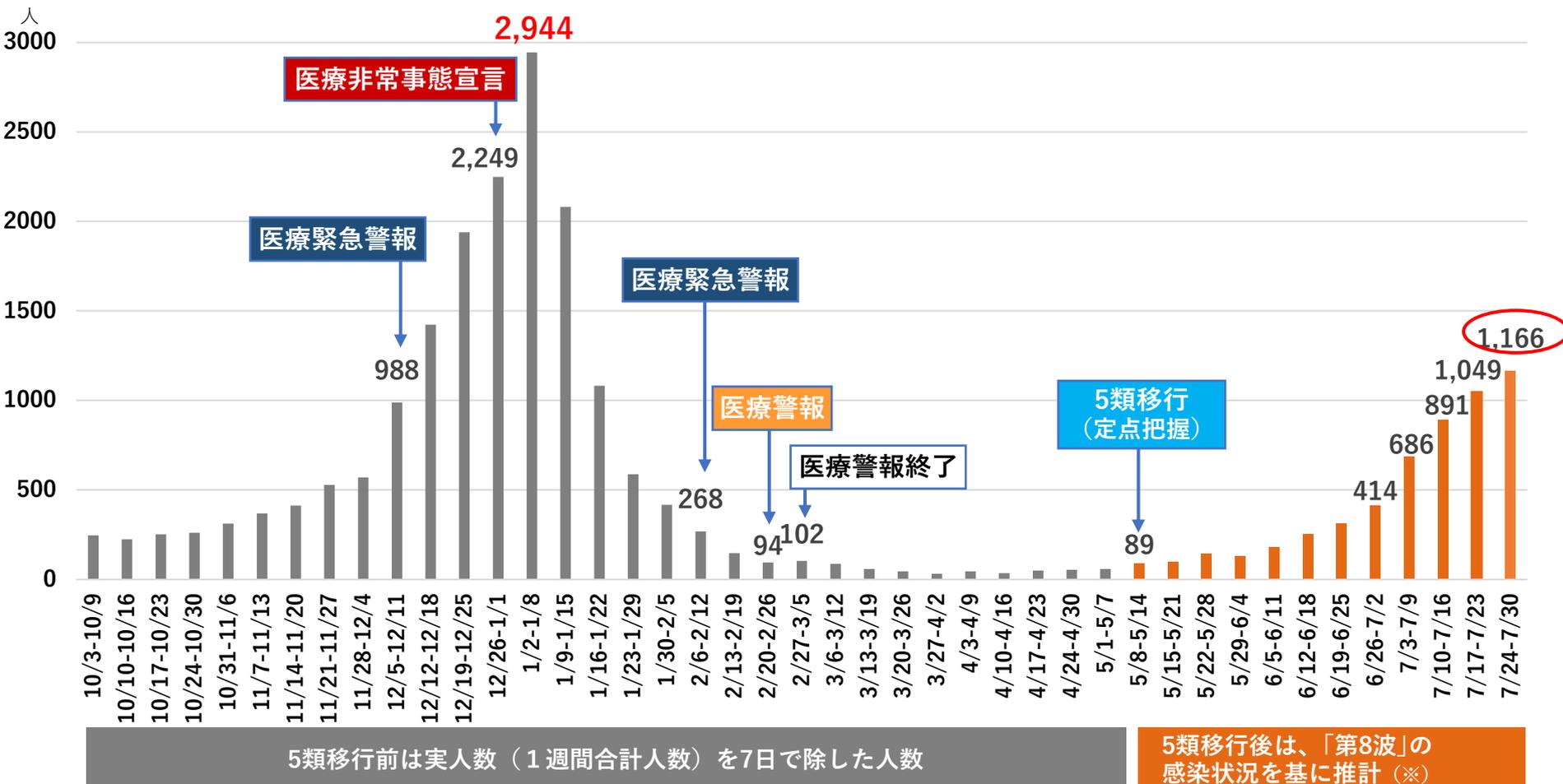


※ 定点医療機関からの報告数 ÷ 58 定点医療機関。5類移行前（定点把握前）の数値は参考値

1日当たりの新規感染者推計（5類移行前は実数）

- ・7月24日の週の推計値は1,166人となっており、2週連続で千人を超える水準となっている。
- ・今後も感染が拡大すると、重症化リスクの高い方々にも感染が広がるリスクがあるとともに、医療のひっ迫に繋がりがねないため、感染者数の抑制を図っていくことが重要。

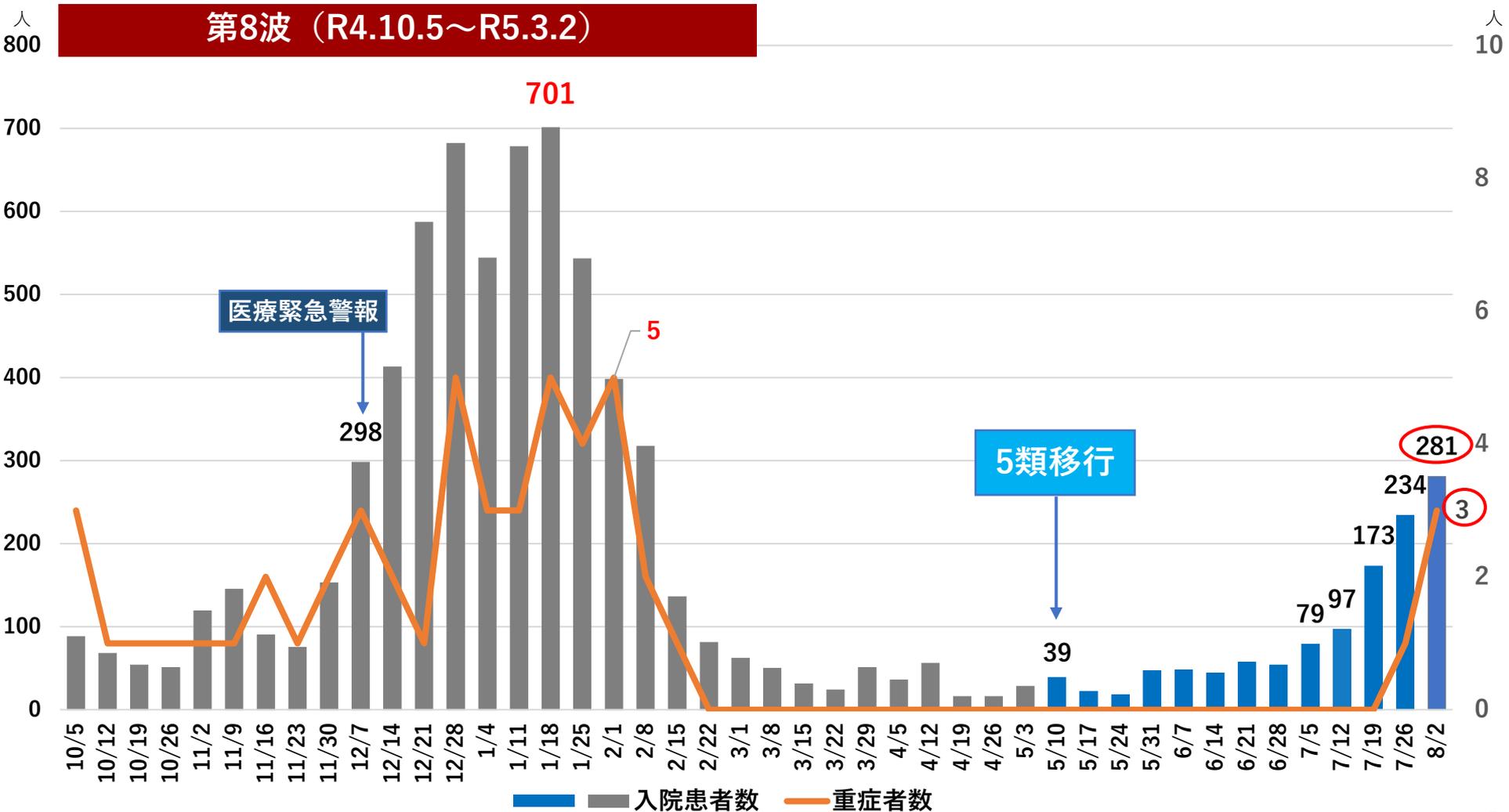
第8波（R4.10.5～R5.3.2）



※ 定点当たりの報告数1に対し、人口10万人当たりの新規感染者数が約30人となることを踏まえ、定点当たりの報告数×30×10÷7日により算出

入院患者数

- ・ 8月2日時点の入院患者数は281名と5週連続で増加しており、第8波における「医療緊急警報」発令時と同じ水準にある。また、重症者数は3名となっている
- ・ 直ちに医療がひっ迫する状況にはないと確認しているが、医療提供体制への負荷は増加している



※ 毎週水曜日時点の県内の医療機関からの報告数

夏の感染対策のポイント

高齢者や**基礎疾患のある方**が感染すれば

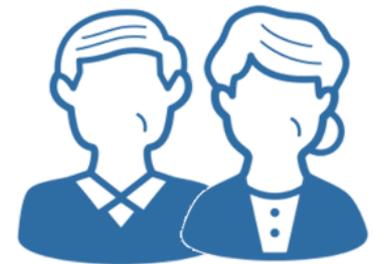
重症化リスクも高まります

夏休みやお盆に帰省等で、

高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、

感染予防を心がけ、

体調を整えるようにしましょう。



感染リスクに応じた対策の実践を！

その場に応じたマスクの着用や咳エチケットの実施

熱中症に気をつけながら、周囲の混雑状況など、その場の**感染リスクに応じてマスク着脱の判断を！**

重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、**受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時**と、**通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時には、マスクの着用を！**

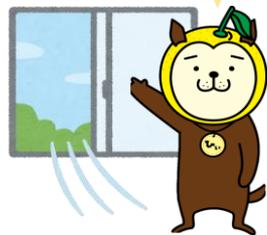


不織布マスクの着用は**感染防止対策として引き続き有効**です！

換気、 三つの密 (密集・密接・密閉) の回避

特に不特定多数の人がいるところでは、**換気**や**人との間隔を空ける**ことが、感染防止対策として有効です。

窓を閉め切りがちな夏場もこまめな換気の実践を！



手洗いは 日常生活習慣に

食事前、トイレの後、家に帰った時などには、**まず手を洗う**よう心がけましょう。

※適切な手指消毒薬の使用も可



お盆期間中の体調不良時への備え

お盆期間中は、多くの医療機関が休診となります。

急な体調不良に備え、

事前に**コロナ抗原検査キット**や

解熱剤などの常備薬の準備をお願いします。



● 発熱などの症状が出たら…

かかりつけ医やお近くの医療機関に**事前に連絡**し、

不織布マスクを着用するなど**感染防止対策を徹底**した上で受診してください。

症状が軽いなど、**医療機関を受診する必要がない場合**には、

国が承認した抗原検査キット等を活用してください。

受診する医療機関に迷う場合や、新型コロナウイルス療養中に体調が急変した際には・・・

宮崎県新型コロナウイルス感染症相談窓口 ☎ 0985-78-5670